

■広報委員会だより

第3回おもしろ科学教室での広報活動

広報委員会では、「一般の方、特に小・中学校、児童・生徒およびその保護者に向けての広報活動の充実」の目標を掲げ、年2回の広報活動「おもしろ科学教室」(1月・名古屋大学)、「小学生のための夏休み自由研究教室」(8月・日本大学)に継続して参加してまいりました。今後も、これらの活動を発展させていきたいと考えています。

今回は、そのうちの一つ「おもしろ科学教室」での広報活動についてご報告します。成人の日の1月10日(月祝)、名古屋大学東山キャンパスで開かれた「第3回おもしろ科学教室」に共同主催で参加しました。この教室は2009年に「益川、小林、下村各先生のノーベル賞受賞」記念で第1回が企画され、本学会を含めた各団体の共同主催で「日本の次世代科学技術を支える青少年の科学啓発のための学協会等連携による地域社会を対象とした科学技術理解増進を趣旨」として始まったものです。小学生(低学年1,2年生を含む)を対象とした教室であり、今回は、講演会、6つの工作教室、各団体の展示ブースから構成されました。

講演会では、本学会の中村幸男常務理事が講師となり、「プラズマワールドをのぞいてみよう」と題して、身近なプラズマから核融合プラズマまで幅広く説明しました(写真1)。講演会場は大盛況で、子どもたちの熱気で一杯となりました(写真2)。講演の合間に、NIFSの水口直紀先生による子ども参加型の実演ショーも設けられました。卓上の実演を巨大スクリーンに映し出して、会場全体に実演内容をわ

かりやすく紹介し、実演のたびに会場全体から「おおー」と、驚きの声が上がりました。また、講演会の後は、「新春お年玉抽選会」があり、各団体から景品を出しました。本学会は、講演の実演ショーでも用いたプラズマボールの小型版を用意し、非常に好評を博しました。

本学会の展示ブースでは、「超伝導磁気浮上列車」、「注射器火花放電装置」、「プラズマボール」、「ビデオ上映・核融合エネルギー」(以上、核融合科学研究所協力)、「大気圧低温プラズマジェット装置」(大阪大学北野先生協力)、「ダイヤモンドで氷切り」(原子力機構協力)、さらに小中学生向けプラズマ・核融合学習パンフレットの配布ならびにクイズ(学会製作)を実施しました。これら参加型の展示を通じて、来場者の方々からも積極的に質問をいただくことができ、活気に溢れた大盛況の展示会場となりました(写真3)。

今回の広報活動では、高畑一也先生(NIFS)、安藤あゆみさん(大阪大学)にご協力いただきました。皆様のご協力に、記して謝意を表します。広報委員会からは、坂本慶司広報委員長、中村幸男常務理事、北野勝久広報委員、中村圭二広報委員、水口直紀広報委員、学会事務局の石山さん、杉山さん、柏木幹事が参加いたしました(写真4)。

この教室は年々反響が大きくなっており、今回は270名の子供の定員枠に500名を超える応募をいただきました。そこに保護者の方も加わり、会場は大賑わいとなりました。次回に向けて、本学会としても参加型の展示の充実を図るとともに、プラズマ・核融合の意義や本学会の活動への理解を深めていただく資料の充実を図っていききたいと考えています。今度とも引き続き、学会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

(本学会広報委員会幹事 柏木美恵子)



写真1：中村常務理事による講演会「プラズマワールドをのぞいてみよう」



写真2：講演会場は大盛況。熱心に聞き入る参加の方々



写真4：参加スタッフ。寒い中お疲れさまでした!!

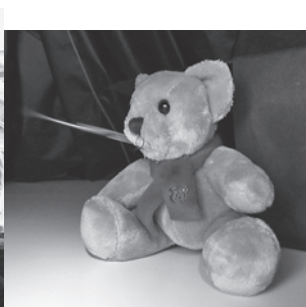


写真3：展示ブースも大盛況。「超伝導磁気浮上列車」(左)、「大気圧プラズマジェット」かわいいクマが火を吹く(中)、「ダイヤモンドで氷切り」(右)。